

令和7年度第1回柏市男女共同参画推進審議会会議録

1 開催日時

令和7年6月27日（金）午前10時～11時30分

2 開催場所

柏市柏1-7-1-301

パレット柏 ミーティングルームF

3 出席者

（委員）

大村委員，萩原委員，津波委員，橋本委員，岡田委員，
谷委員，村上委員

（事務局）

佐伯共生・交流推進センター所長，長妻主査，小泉主事

4 議題

(1) 第三次柏市男女共同参画推進計画に定める施策等の令和6年度実績報告について

(2) 第4次柏市男女共同参画推進計画に定める施策等の令和7年度予定事業について

(3) 令和7年度柏市男女共同参画行政に関する施策について

(4) その他

5 議事（要旨）

(1) 第三次柏市男女共同参画推進計画に定める施策等の令和6年度実績報告について

事務局から第三次計画に定める令和6年度実績報告を行った。その際の主な意見は次のとおり

（大村委員）

番号13「男女共同参画の視点に立った配慮」について，

災害時の女性参画はどれくらい意識されているのか。例えば避難所の運営の際に生理用品の配布を男性が行うのは、女性にとっては受け取りにくいのではないか。

備蓄品の拡充と並んで運営側の女性の参画を検討した方がよいのでは。

(事務局)

防災安全課が、各地域へ避難所ごとに避難所運営委員会を立ち上げることをお願いしている。立ち上げの際は、女性参画の目線が必要なため、人員の配置の依頼はおそらくしていると思われる。この件については、防災安全課と共有させていただく。

(大村委員)

番号23「育児に関する講座」について、「ママパパサロン」の参加者にアンケートは取っているのか。

(事務局)

おそらく取っていると思う。

(大村委員)

アンケートはとても参考になると思うので、共有してもらうことで施策に活かせると思う。

(事務局)

他課が行っているアンケートを共有してもらったことは今までなかったため、取り入れていければと思う。

(大村委員)

パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の実施状況は定期的にまとめているのか。

(事務局)

届出件数は毎月市ホームページで更新している。令和7年6月1日現在の届出件数は53件となっている。

(大村委員)

都市間連携の状況は。

(事務局)

千葉県との都市間連携協定は令和7年4月1日現在17市で締結している。

(大村委員)

自治体の連携の状況もある程度、短期間でまとめていただければと思う。

(2) 第4次柏市男女共同参画推進計画に定める施策等の令和7年度予定事業について

事務局から第4次計画に定める令和7年度予定事業について説明を行った。その際の主な意見は次のとおり

(大村委員)

番号50～51「ハラスメントに起因する人権侵害等を防止するための啓発」について、職員の中で上司から部下へのハラスメントがあった場合は、番号50の人事課の窓口で対応し、議員の中で先輩議員から後輩議員へのハラスメントがあった場合は、番号51の議会事務局の窓口で対応すると思うが、議員から職員へまたは職員から議員へのハラスメントがあった場合はどこの窓口が対応するのか。

(事務局)

議員が関わる場合は、議会事務局の方で対応する。

(津波委員)

ハラスメントについて、担当課が分かれているため、どこに相談すればよいか分かりやすいチャートのようなものがあると相談しやすくなるのでは。

(大村委員)

総合窓口を設置して振り分ける方法と、どこの窓口でも相談可能であり、もし違っていた場合にはその窓口が適切な窓口で共有して繋ぐという方法があると思う。

また、最初の相談はハードルを下げて、「もしかして…」の場合でも話を聞いてあげることが必要だと思う。

(津波委員)

相談窓口の情報を広く発信していく方が良く思う。

(村上委員)

番号59のDVの施策について、人権の相談については広報広聴課が最初の窓口(ワンストップ窓口)になってそ

これから適切な窓口割り振っているのか。

(事務局)

広報広聴課がワンストップ窓口になっているわけではない。基本的には法律相談や人権に関する相談は広報広聴課が担っているが、当センターが行う女性相談でも法律に関する相談の電話が来て、適切な窓口につながることもある。

それぞれの窓口が適切な窓口割り振っている状況である。

(村上委員)

ワンストップで相談できるのも良いが、そこにアクセスできるかどうかという難しさもある。大変なときに何に最初にアクセスできるかが重要なため、複数の場所があって連携ができていなければならぬのでは。

(大村委員)

相談しているうちに気づくこともある。

(村上委員)

子どものことで相談していたら、母親の問題に気付いたりもする。

(橋本委員)

法律相談を受けていて、離婚の相談の時に子どもの問題の話が出たりもする。その場合に行政窓口のどこを案内すればよいかわからないときもある。

(大村委員)

課名から相談窓口の内容がくみ取れない時もある。どの課が何をやっていてどのような連携を取っているのかをわかりやすく示すと良いのでは。

(橋本委員)

男性のDV被害者もいるので、男性相談窓口のニーズはある。

(事務局)

現在、当センターでは女性相談を行っており、男性相談については千葉県窓口を案内しているが、やはり、男性のニーズもあると思うため、どのくらいニーズがあるのか

を調査し，検討していきたいと思う。

（橋本委員）

女性の被害者が多いという想定で女性相談のみをやっていると思うが，男性被害者が助けを求める場所が少ないからこそ男性の被害件数が増えていないところもある。

（村上委員）

相談窓口の周知はしているのか。

（事務局）

女性相談については，チラシに相談の実施している曜日と時間を記載している。男性相談については，同じチラシの裏面に千葉県の男性相談窓口を記載している。

（橋本委員）

男性相談と女性相談は日にちを分けた方がよい。

（橋本委員）

パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の使い勝手に関するアンケートは行っているのか。

（事務局）

現在はアンケートは行っていない。

（橋本委員）

利用者の使い勝手を聞くことで，改善できることもあると思うので，行ってみるのも良いと思う。

（大村委員）

行政サービスの充実に向けて検討していくのに活かせるのでは。

(3) 令和7年度柏市男女共同参画行政に関する施策について

事務局から当センターで実施した令和6年度事業と今後実施する令和7年度予定事業について説明を行った。その際の主な意見は次のとおり

（津波委員）

講座のテーマが年間で決まっているのであれば，年間予定のチラシがあれば，予定が被っていて行けない人が減る

のではないか。

(岡田委員)

チラシはどのように周知しているのか。

(事務局)

媒体としては、市ホームページ、市公式LINE、はぐはぐ柏インスタグラム、近隣センター等での配架を利用している。

(岡田委員)

近隣センターのチラシはあまり流れていないのではないか。SNSは登録していないと見ない。本当に情報が届いているのか。

(萩原委員)

例えば、年間チラシをS i g f y (市内小中学校保護者向けの情報発信媒体)で流すのはどうか。

(津波委員)

学校からの情報は信用度も高いと思う。

(村上委員)

講座の内容によって利用するのが良いと思う。12月のパパとベビーダンス講座や2月のタイムマネジメント講座は小学生の親のニーズが高いと思う。

(岡田委員)

ベビーダンスなどの赤ちゃん向けであれば、病院には絶対行くと思うので、病院で周知してもらうのは良いのでは。

(谷委員)

主任児童委員が行っている「子育てサロンはらっぱ」という就園前の乳幼児と保護者が集う場所がある。このような場所には講座の案内は出ているのか。

(事務局)

児童センターやこども図書館への配架はしている。

(谷委員)

チラシが置いてあるだけでなく、集いの参加者に直接チラシを渡すのも良いと思う。

(橋本委員)

病院だと柏市民以外の人でも来てしまうため，母子健診の際に保健師から渡すと柏市民に届いて良いのでは。

(村上委員)

ターゲットとなる月齢が決まっているのなら，3か月健診等で配ってもらうのも良いと思う。

(事務局)

職員では気づかないような多くの意見をいただくことができたため，今後の参考にさせていただく。

(4) その他

委員の任期についての説明を行った。

6 傍聴

傍聴者なし

7 次回開催日時

令和7年8月予定